

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No.61 号
2023. 7

発行:NPO法人
みどりの市民
〒380-8553 長野市若
里 4-17-1 信州大学
工学部 UFO ながの
高木研究室内
発行人:高木直樹

ブルーカーボンについて

みどりの市民 理事 小池啓道

最近頻発するゲリラ的な大雨、異常な寒波や熱波が、気候の温暖化によるもので、温暖化の主な原因の一つが二酸化炭素（CO2）の増加であることに疑問を持つ人は少ないと思います。そして、温暖化を防止するために、CO2 の排出を抑制する脱炭素の取組みが進められています。私たちのプラスチックを減らすことや、できるだけごみを出さない活動などもその一つですし、火力発電から自然電力への切り替え、省エネルギーの住宅も大きな効果があるとされています。

このように、炭素の排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルはとても大切なことですが、これだけでは温暖化を食い止めることはできません。なぜなら、過去に排出した CO2 はそのまま残り続けるからです。大気の温度を下げるためには、過去の CO2 もなんとかしなくてはなりません。その手段の一つとして注目されているのが“ブルーカーボン”と呼ばれる海藻などによる CO2 の吸収作用です。ブルーカーボンに対して、陸上の森林などによる CO2 の吸収はグリーンカーボンと言われます。

ブルーカーボンはグリーンカーボンとほぼ同程度の炭素貯蓄（吸収）力がありますが、樹木だと伐採や枯れるまでのだいたい数十年しか貯蓄できないのに対して、ブルーカーボンは海の中にあることから、



国土交通省港湾局HPより

CO2 が大気中へ放出されることがなく、数百年から数千年貯蓄することができますので、効果が期待されています。

ところが、海は大切な温度調整機能を持っていますが、いまや深層水まで温度上昇していること、海洋汚染やマイクロプラスチックなどの問題もあって、生物だけでなく海の環境そのものが危機に直面しています。

そこで日本でも“海の砂漠化”を防ぎ、海藻類を増やして、地球環境を正常に戻していこうというプロジェクトが進められています。代表的なものは「ブルーカーボンネットワーク」で、熱海を本拠地とし

て様々な団体が協賛しています。

長野市には海はありませんが、川も海につながっていますので、みどりの市民が川のごみ拾いをすることは海の汚染を防ぐこととなります。また、ペットボトルはプラスチックですから、使わないことが作らないことになっていくので、小さな積み重ねを軽視せず続けることが大切です。

地球の温度を下げるには、気の遠くなるような努力と時間が必要です。未来のために、できることからがんばっていきましょう。

【2023 年度総会開催】

～課題が多い中、新理事選任される～



2023 年度総会が、5 月 13 日ふれあい福祉センターで、会員 39 名のうち 35 人（委任状 20 人、出席 15 人）の参加により、Zoom とリアルルのハイブリッドで開催された。本年度は役員任期 2 年の途中でしたが、新しい理事を迎えるなどの役員改選と 2022 年度事業報告、活動計算報告、監査報告、2023 年度活動計画、予算書の 5 つ議案が審議され承認されました。

又、事務局「UFOながの」が 2023 年 12 月末日が使用期限であり、事務所移転について協議されたが、現時点では未解決であり、引き続き検討していくことになりました。

役員改選では、まだ 30 代を迎えたばかりの小林達矢氏が新理事に就任。みどりの市民の理事は一気に若返り、今後の活動が期待されます。

《2022 年度事業報告》

コロナ禍において活動は制限されていたが、SDG s の実現を目指して活動を進めた。同時に設立 20 年になる本年度は、改めて NPO としての「みどりの市民」の在り方を考える年として、拡大理事会を開催するなどして議論を重ねてきた。

主な事業の活動概要は以下の通りです。

I 省エネ、資源リサイクル等地球温暖化防止、循環型社会づくり

○長野市からの委託業務の「生ごみ減量アドバイザーに関する派遣・養成・研修」

財政的にも事業としてもみどりの市民の大きな活動の柱。

・長野市の「生ごみ自家処理講座」は新型コロナウイルス感染の影響により、9 月からの開始で 10 回、その他生ごみ減量アドバイザーの派遣は 20 回で計 30 回。

・「生ごみ減量アドバイザー養成講座（5 回シリーズ）」受講生 12 名、アドバイザー登録 6 名。「生ごみ減量アドバイザー研修会」を 3 回実施。

○生ごみ一次生成物・竹基材・野菜の資源循環事業（通称：どんぐり・るるネット）

今年から長野市の支援金は無くなり、会費を再値上。会員数は 60 名を保ち運営。

○エシカル・グリーンコンシューマー普及啓発

エシカルふえす（9 月 30 日、10 月 1 日に開催）の実行委員会に事務局として活動。同時に NPO として「生ごみの堆肥化」をアピール。又、古布団綿活用で小座布団作りを行い、エシカル消費の普及に努めた。



養成講座終了生記念撮影



小座布団作り できました！

II 自然環境保護・保全

○携帯トイレ普及による環境保全活動は「飯綱高原を美しくする会」との連携により、活動を継続。

III 環境教育、環境学習の実施、普及、啓発

コロナ禍の影響を受け、会食等を伴う講座は中止、内容の変更などで対応し、可能な限り開催。

○親子対象の「エコアクティブ塾」3 回、主婦向けの「エコサロン」3 回

○市民目線の中小企業者サステナビリティ自主調査推進プロジェクトは、認定 NPO 法人環境市民への協力という形であったが、企業へのエシカルの推進という新しい活動展開でみどりの市民単独ではできない活動の機会となった。



人気の「エコアクティブ塾」2 講座

IV 遊休農地の活用に関する事業

○みどり農園運営若穂川田の畑（約 7 畝）に移り 5 年目、「大豆」を中心に耕作。大豆の収穫量は 35 k g（味噌用）と出来高は良くなかったが、会員用のじゃが芋、さつま芋を収穫し、みどり農園は会員の貴重な交流の場である。



生ごみ減量アドバイザー研修会(第1回)開催報告

～受講生による模擬講座 熱気を帯びる～

生ごみ減量アドバイザー研修会第1回が6月15日長野市ふれあいセンターで開かれました。この研修会はみどりの市民が長野市からの委託業務として年3回実施しています。生ごみ減量アドバイザー24名中20名が出席して、出席率83%で好スタートを切りました。

本年度新しく赴任された藤原慶治生活環境課長の挨拶の後、研修Ⅰ、研修Ⅱ、研修Ⅲが行われました。

研修Ⅰとして、「長野市のごみ処理の現状とごみ処理対策・生ごみ減量アドバイザー派遣制度及び令和5年度生ごみ自家処理講座」について担当の高原さんから話がありました。

本年度から派遣制度の申込期日が1ヶ月から10日前に変更になったこと、コロナ禍で開催が遅れていた市の講座も6月から開催になるなど、コロナ以前に戻っているいろいろな講座・催し物が可能になっていく実感がありました。

研修Ⅱでは、エシカル消費についてみどりの市民より話がありました。何回か耳にする言葉ですが、特に開発途上国の児童労働を強いられる状況について考えさせられ、人・社会に配慮した消費をしたいと更に思いました。



研修Ⅲでは、4つのテーマについて4名の生ごみ減量アドバイザーによる模擬講座を実施しました。

「生ごみ堆肥化の基礎」は北山恵子さん、「生ごみ堆肥化の方法(段ボール箱容器編)」は南波博子さん、「生ごみ堆肥の活用」は石坂悦子さん。「生ごみの堆肥化方法(コンポスト容器編)」は絹川千代さん。発表者の経験豊かで具体的な準備品や参加者(受講生)も交えての講義など大変参考になりました。

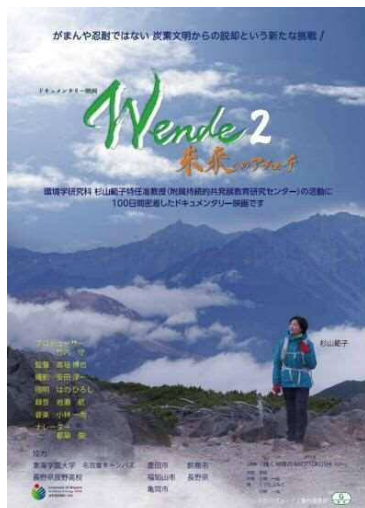
模擬講座の後にはまとめと意見交換。聞き手のアドバイザーから様々な意見があり、

《出された意見》

- ・講座や研修会など昼の時間が多いが、勤めている人が参加できる形にできないか。
- ・いろいろな組織間交流ができないか。
- ・本日の研修では堆肥化についても話をされたが、生ごみ減量アドバイザーとして減量のスキルをもっと具体的に取り入れたらどうだろうか。

活発な意見交換になりました。(報告:生ごみ減量アドバイザー スタッフ松本玲子)

《2023年10月20日》映画上映会「ヴェンデ2」開催決まる



ドキュメンタリー映画「Wende 2 未来へのアプローチ」の上映会が、みどりの市民設立20周年記念事業(主催:長野県温暖化活動防止センター、みどりの市民共催)として下記のように開催されます。「ヴェンデ」はドイツ語で大改革の意味。映画は、気候変動問題の地域からの取り組みを呼び掛け、地域における気候政策の研究者 杉山範子氏の活動を軸に展開。長野県内の高校生による地球温暖化による影響調査の取り組みにも取材、みどりの市民の浜田理事が出演者に名を連ねています。「オセロの駒がひっくり返っていくみたいに、持続可能でない社会を地域からひっくり返して持続可能にしていく事をめざしたい」…ヴェンデ2制作委員

【上映会】 期日/10月20日(金)
会場/市民芸術館アクトホール
(入場無料)
主演の杉山範子さんのトークもあります

2023年度 みどり農園だより (ナガブロより)

みどり農園へ行こう！

「サツマイモの苗植え」一週間前倒し

《5月7日》5/14日に予定していた「サツマイモの苗植え」を5/7(日)に行いました。当日は小雨が止んだ午前9時に7名(子供2人)が集まりました。準備した苗を各自一本ずつ植えました。作業は一瞬です。草が少し生え始めたので目立つ部分を抜き取り、10時前に解散しました。



農園のジジと一緒にサツマイモの植え付け

植えたのは“紅はるか”です。秋にはおいしい芋ほりができるでしょう!!

個人畑は草取り だいぶ育ってきています。

「草取り作業」《6月11日》じゃが芋の花が咲きはじめ、サツマイモ

もようやく根付いた、6/11(日)草取りを行いました。週間予報では午前中晴れる予定でしたが、あいにくの小雨模様となりじゃが芋の花芽欠きとわき目(枝)欠き(2~3本仕立て)だけを行い、早々に解散としました。9時に8名(子供1人)集まっていたいただきお疲れさま。



ジャガイモの花芽欠き作業



鍬の使い方も様になってきました

《6月18日》当日できなかった草取り&草刈りを6/18に5名で行いました。(一部の方は17日に作業実施)

とりあえず来月の芋ほり(7/23)まで持ちこたえられそ

うです。草はすぐ生えてきますので、各自のご都合で作業できる方は(個人部分の手入れも兼ねて)継続して草取り作業を お願いします。(文責/山口、写真/中村、渡辺)

活動状況はみどりの市民 HP 上のブログに掲載いたします

お知らせコーナー

「エシカルふえす」開催 (信州環境フェアと同時開催)〜つくるエシカル 十人十色のこちよ消費〜



◆とき：7月29日(土) 10:00~16:00

◆ところ：長野市役所 桜スクエア、展示サロン

◇体験/手織り、革加工、生ごみ堆肥化、ハーバリウム
割りばしでトング作り<エコ遊びひろば>

◇販売/エシカル商品(ビーガン・グルテンフリースイーツ
フェアトレードコーヒー、オーガニック食品、地元野菜他)

エシカルポイントラリー

クイズに答えて景
品をゲット

主催：エシカルふえす長野実行委員会(事務局：みどりの市民)

★エコサロン「ヘチマでSDGsにチャレンジ」★



日時：10月5日(木) 10:00~12:00

場所：ふれあい福祉センター(調理室)

参加費：700円(材料費含み) 定員 10人(先着順)

持ち物：ゴム手袋、ヘチマ水を入れるガラス瓶 300cc位 2本

(内容)ヘチマ水とヘチマタワシを作ります。
~脱プラスチック、オーガニックな化粧品~
(夏にはグリーンカーテンで活躍)

《講座申し込み方法》

下記みどりの市民の事務局へメール、Tel、faxで、
お名前、連絡先をご連絡ください。

《追悼》会員の駒村俊明さんが病気のため2023年6月13日にご
逝去されました。駒村さんには、みどりの市民の発足当初から
様々な分野でご尽力いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

みどりの市民の会員数(2023年5月13日現在)
正会員 39人 賛助会員 14人 団体賛助会員 1団体
〒380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学工学部

UFO ながの高木研究室内

TEL&FAX 026-269-5092

E-mail: midorit18@shinshu-u.ac.jp

URL <http://midorinoc.sub.jp/>



《キャンパスの一隅にて》総会が終わり、県
への活動報告書の提出。ホットして気が付いたら今年も半年過ぎました。そんな日々、連日、線状降水帯の発生、最高気温更新と異常気象の厳しいニュースが続いています。穏やかな季節を感じる日は以前より少なくなりました。でも、田舎の我が家に毎年やってくる燕の親子の自然の営みに心が癒されています。(H. W.)